



尾道市立日比崎中学校 令和7年度「学校経営」全体構想図

VISION

学校教育目標 夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う生徒の育成～コミュニケーション能力の育成と深い学びの実現を通して～

学校経営目標 『チーム日比崎』～目標に向かって、全員の能力を結集し高め合い、達成を喜び合う教職員集団づくり

めざす像

- 生徒の憧れとなる教師
- 生徒の良さに気づき、伸ばす教師
- 専門性と人間性を備えた教師

めざす教師像

- 自らを豊かにする知恵とコミュニケーション能力を備えた生徒
- 自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒
- 仲間を大切に、一生懸命がすばらしい生徒
- 自尊感情が高い生徒

めざす生徒像

- 教職員一人一人の能力が最大限に発揮される学校
- 生徒・保護者・教職員・地域が誇りに感じる学校
- 組織的機能的な学校経営が確立している学校

めざす学校像

本校が育成をめざす資質・能力

主体性 (自尊心・好奇心・課題発見力)

コミュニケーション能力 (表現力・活用力・読解力と対話力)

15歳の生徒が「学びの改革」で身につけてもらいたい力

自己を認識する力・自分の人生を選択する力・表現する力

コミュニティスクールによる ATTEMPT

コミュニティ スクール

- 地域の皆様とともに創る総合的な学習(防災教育)「日比崎サバイバルプロジェクト通称サバプロ」本校カリ・マネのイメージ図
～南海トラフ大地震を地域のみんなで何が何でも生き残れ～ プロジェクト型学習の更なる展開(発展)
プレゼンの会・事前学習・本番への地域の方の参観、地域の防災活動への生徒の参加、1・2学年の活動充実
- 地域の皆様とともに活動する「尾道愛し隊」: 尾道愛と自己肯定感の醸成とアピール活動(継続)
- 日比崎小学校との連携(リーダーの交流など)(継続)



「学びの変革」の研究主題

主体的な学びの創造

～課題発見・解決学習の単元開発および意欲を高める学習課題と発問の工夫を通して～

「学びの変革」重点目標

スクールプライド SDGs 起業家精神

- 主体的な学びを促す授業づくり(課題発見・解決学習)の更なる深化
・「やってみよう」と思える学習課題の設定と発問
・見通しを持った単元開発【本質的な問い(その教科で目指す姿)】・【評価基準の明確化(その単元で生徒にどんな力をつけさせたいのか)】
・話し合い活動の充実【学校行事・授業(「課題」を教師と生徒ではなく、生徒同士の対話・ねりあいによって解決していく)】
- 学校行事を通じた「達成感」と「憧れ感」の醸成【感動・涙・歌声・笑顔あふれる学校行事】
- 特別活動の推進(「活動の目的・ねらい」を活かした話し合い活動・「成長の見える化」・学級集団づくりの共有化)
- カリマネを活用した社会に開かれた教育課程(サバプロ)(地域と共に創るプロジェクト型学習・コミュニティスクールの活用)(発展)
- 地域と創る学校(コミュニティスクールの実働・小中連携・広報活動)(継続)

知・徳・体の調和

確かな学力

豊かな心

健やかな体

- ICTの活用(ハイブリットの活用の工夫)
- キャリア教育の充実(自己表現力育成・起業家精神・講師の招聘)
- 課題発見・解決力の育成(教科の見方・考え方を活かした授業)
- 道徳教育の充実(考える道徳・総合単元道徳)
- 学級集団づくり(学級づくりの共有・生徒会活動の充実)
- 生徒の心に寄り添う生徒指導と進路指導
- 読書の充実(朝読書・ピピリオバトルなど)
- 挨拶・返事・歌声づくり(スクールプライド)
- 体力・運動能力の向上(部活動の活性化)
- 健康教育・食育の充実(栄養教諭の活用)
- with コロナの感染対策
- 基本的生活習慣の確立
- 新規・発展 ●継続

業務改善

- 業務改善を進め、在校時間を減らすことで子どもと向き合い時間(生徒のための時間)と余裕をつくる。
- 「新たな学校行事・新しい学校へのチャレンジ」～わくわく感と達成感、「教職員がやりたいことをできる学校」

人材育成

- ベテランは背中語り、若手は誠実にチャレンジし、互いにリスペクトし成長する教職員
- 広島教育、尾道教育、日比崎教育の良き伝統と暗黙知を継承し、ICTの活用ができる教職員

みんなの共通言語

「学力をつける」「正しい関係を学ぶ」 掴み取れ！ 達成感 憧れ感